

統計法に基づく
一般統計調査



政府統計



2021年社会保障・人口問題基本調査

結婚と出産に関する全国調査

第16回出生動向基本調査

〔結婚されている方への調査票〕

(令和3(2021)年 6 月 30日 現在の事実)

対象となられた皆さまへ

このたびは調査にご協力いただきまして、まことにありがとうございます。

この調査は、わが国における結婚、出産、子育ての現状と課題を調べるために、国立社会保障・人口問題研究所が全国的に行う標本調査です。これからの日本社会の見通しや施策を考える上で、大切な資料となるものです。この調査票への回答は統計を作成する目的だけに用いられ、それ以外の使用は法律で固く禁じられています。お答えいただいた内容が他にもれることは絶対にありませんので、どうぞ安心してありのままをお答えくださいますようお願いいたします。

(調査の詳しいご説明は、13ページにございます)

なお、この調査票の配布と回収(密封封筒)には、都道府県知事(市長・区長)の任命を受けた調査員が皆さまのお宅にうかがいます。ご不明の点は調査員におたずねください。

記入上のお願い

- この調査票は6月30日時点で**結婚している55歳未満の女性の方**に、ご夫婦のことについて答えていただくためのものです(「結婚している」とは、届出の有無にかかわらず配偶者がいることです)。
- 令和3(2021)年**6月30日現在の事実**について、黒のボールペンや鉛筆でご記入ください。
- 回答のしかたは、あてはまる番号に○をつけるものと、必要なことがらを書きこむものがあります。
- 回答後の調査票は、**回収用の封筒**に入れ、**ノリづけしたうえで調査員にお渡し**ください。封筒はそのまま国立社会保障・人口問題研究所に届けられ、決して途中で開封されることはありません。

厚生労働省
国立社会保障・人口問題研究所

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3
日比谷国際ビル6階

電話 (03) 3595-2984 内線4477 / 4474
<http://www.ipss.go.jp>

調査員記入欄

都道府県	
保健所	
地域コード	

Sample

問1 あなた方ご夫婦の(1)出生年月、(2)結婚生活を始めた年月、(3)結婚を届け出た年月、および(4)初再婚の別と再婚回数について、あてはまる番号に○をつけ、下線の欄に数字を記入してください。

	(1) 出生年月	(2) 結婚生活を始めた年月	(3) 結婚を届け出た年月	(4) 初再婚の別
あなた	1. 昭和 2. 平成 ____年__月 3. 西暦	1. 昭和 2. 平成 3. 令和 4. 西暦	1. 結婚生活開始と同時 2. 下の年月に届け出た ↳ 1.昭和 2.平成 ____年__月 3.令和 4.西暦	1. 初婚 2. 離婚後再婚 } 再婚 3. 死別後再婚 } ()回目
夫	1. 昭和 2. 平成 ____年__月 3. 西暦	____年__月	3. (まだ)届出はしていない	1. 初婚 2. 離婚後再婚 } 再婚 3. 死別後再婚 } ()回目

問2 あなた方ご夫婦が、(1)初めてお知り合いになったのはいつですか。(2)婚約あるいは結婚の合意をなされたのはいつですか。また、(3)結婚する前に同棲をしていた期間がありましたか。

(1) 初めて知り合った年月	(2) 婚約または結婚の合意の年月	(3) 同棲期間の有無*
1. 昭和 2. 平成 ____年__月 3. 令和 4. 西暦	1. 昭和 2. 平成 ____年__月 3. 令和 4. 西暦	1. ない 2. あった ↳ ____年__か月くらい

*同棲期間とは、結婚生活を始める前に生活を共にした期間のことです。

問3 あなた方ご夫婦はどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

あてはまる番号1つに○	
1. 学校で	7. 結婚相談所で(オンラインを含む)
2. 職場や仕事の関係で	8. 街なかや旅先で
3. 幼なじみ・隣人関係	9. アルバイトで
4. 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで	10. (1~9以外で) ネット(インターネット)で*
5. 友人や兄弟姉妹を通じて	↳ (具体的に)
6. 見合いで(親せき・上役などの紹介も含む)	11. その他 → (具体的に)

*「ネット(インターネット)で」は、SNS、ウェブサイト、アプリ等によるやりとりがきっかけで知り合った場合をさします。

問4 あなた方ご夫婦が、最終的に結婚を決めたときの直接のきっかけは何ですか。次の中からあてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

最終的に結婚を決めたときの直接のきっかけ	
あてはまる番号を2つまで選んで○	1. 結婚資金(挙式や新生活の準備のための費用)が用意できた
	2. 収入や住居など結婚生活のための経済的基盤ができた
	3. 自分または相手の仕事の事情
	4. できるだけ早く一緒に暮らしたかった
	5. 年齢的に適当な時期だと感じた
	6. できるだけ早く子どもがほしかった
	7. 子どもができた
	8. 友人や同年代の人たちの結婚
	9. 親や周囲のすすめ
	10 その他 ()

問5 あなた方ご夫婦について、それぞれ (1) 在学・卒業の別 (卒業された方は卒業した年齢を下線に記入) と、(2) その学校について、あてはまる番号に○をつけてください。

	(1) 在学・卒業の別	(2) 在学中の方→現在在学中の学校 卒業の方→最後に卒業した学校
あなた	あてはまる番号に○ 1. 現在、在学中(休学等を含む) → 2. すでに卒業 → <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> 最後の学校を卒業した年齢 () 歳 数字を記入 </div>	あてはまる番号1つに○ 1. 中学校 2. 男女共学の高校 3. 男女別学の高校 4. 専修・専門学校(高卒後) 5. 短大・高専 6. 女子大学 7. 共学の大学 8. 大学院 9. その他 ()
夫	あてはまる番号に○ 1. 現在、在学中(休学等を含む) → 2. すでに卒業 → <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> 最後の学校を卒業した年齢 () 歳 数字を記入 </div>	あてはまる番号1つに○ 1. 中学校 2. 男女共学の高校 3. 男女別学の高校 4. 専修・専門学校(高卒後) 5. 短大・高専 6. 大学 7. 大学院 8. その他 ()

※ 大学、大学院卒業後に専門学校などに通った場合、大学または大学院を「最後に卒業した学校」としてご回答ください。
 ※ 中途退学した場合は、その前の卒業学校を「最後に卒業した学校」としてご回答ください。

問6 あなた方ご夫婦のいろいろな時期のおつとめの状況についておたずねします。下のa~gの各時期における(1)おつとめの状況、(2)職種、(3)おつとめ先の従業員数について、回答欄のあてはまる番号に1つずつ○をつけてください(お仕事が複数の場合、主たる仕事が対象)。

おたずねの対象者 ↓	おたずねの対象の時期 ↓	(1)おつとめの状況※1	(2)職 種	(3)おつとめ先の従業員数 (本社・支社を含む)
		1 正規の職員 2 パート・アルバイト 3 派遣・嘱託・契約社員 4 自営業主・家族従業者 5 内職 6 無職・家事 7 学生	1 主として農林漁業 2 農林漁業以外の自営業 3 専門職 4 管理職 5 事務職 6 販売・サービス職 7 工場などの現場労働	1 5人未満 2 10人未満 3 30人未満 4 100人未満 5 300人未満 6 1000人以上 7 官公庁
あなた	a. 最後に学校を卒業した直後※2	1~6のあてはまる番号に○をつける 1~4に○をつけたときは右の欄に進む <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">1 2 3 4</div> 5 6	(1)で1~4に○をつけたときだけあてはまる番号に○をつける	(1)で1~4に○をつけたときだけあてはまる番号に○をつける
	b. 現在の結婚を決めたとき	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">1 2 3 4</div> 5 6	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7
	c. 結婚直後	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">1 2 3 4</div> 5 6	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7
	d. 現在	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">1 2 3 4</div> 5 6	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7
夫	e. 最後に学校を卒業した直後※2	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">1 2 3 4</div> 5 6	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7
	f. あなたとの結婚を決めたとき	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">1 2 3 4</div> 5 6	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7
	g. 現在	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">1 2 3 4</div> 5 6	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7

※1 産休・育児休業中の場合は、就業とみなします。休業前のおつとめの状況に○をつけてください。
 ※2 在学中の方は、前の学校を卒業した直後の状況についてご記入ください。

問7 あなた方ご夫婦の現在のお仕事（収入を伴うもの。複数ある場合、主たる仕事を対象）について、次の(1)～(4)には該当する数字を記入し、(5)については、あてはまる番号に1つずつ〇をつけてください。

	あなたの仕事について (収入を伴う仕事に就いている場合ご記入ください)	夫の仕事について (収入を伴う仕事に就いている場合ご記入ください)
(1) 勤務する日1日の平均的な労働時間	1日あたり 平均 <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 <small><残業時間も含めた平均的な労働時間をご記入ください></small>	1日あたり 平均 <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分
(2) 1週間の平均的な労働日数	週あたり平均 <input type="text"/> 日	週あたり平均 <input type="text"/> 日
(3) 現在の仕事の勤続または継続年数*	およそ <input type="text"/> 年 <small>(1年未満の場合は、1年として下さい。)</small>	およそ <input type="text"/> 年
(4) 今年の5月の収入	税込み 約 <input type="text"/> 万円 <small><事業収入の場合は、売上から諸経費を差し引いた額を記入してください。次の(5)も同様です></small>	税込み 約 <input type="text"/> 万円
(5) 昨年(2020年)の年収	税込み 0. 1～99万円 6. 600万円台 1. 100万円台 7. 700万円台 2. 200万円台 8. 800万円台 3. 300万円台 9. 900万円台 4. 400万円台 10. 1000万円以上 5. 500万円台 11. なし	税込み 0. 1～99万円 6. 600万円台 1. 100万円台 7. 700万円台 2. 200万円台 8. 800万円台 3. 300万円台 9. 900万円台 4. 400万円台 10. 1000万円以上 5. 500万円台 11. なし

* 休業からの復帰や社内の業務異動後からではなく、その勤め先に勤め始めた時期からの年数をお書きください。

● 次の問は、**現在お仕事をもちでない方** にかかっています。収入を伴うお仕事をもちの方（育児休業中の方を含む）は問9へ進んでください。

問8 あなたは今後、(1)収入を伴うお仕事をしたいですか。お仕事をしたい場合、(2)どのようなお仕事にしたいですか。あてはまる番号1つに〇をつけてください。

(1) 就業希望の有無	(2) 希望する就業形態
あてはまる番号1つに〇	あてはまる番号1つに〇
1. すぐにも働きたい	1. 正規の職員
2. しばらく間をおいてから働きたい ↳ () 年後くらい	2. パート・アルバイト
3. とくに時期の希望はないが いずれ働きたい	3. 派遣・嘱託・契約社員
4. 今後も仕事をするつもりはない	4. 自営業主・家族従業者・内職
5. その他 ()	

● **すべての方** に、あなた方ご夫婦のお子さんの数についてうかがいます。

問9 あなた方ご夫婦のお子さんについておたずねします。次の下線の欄に該当する人数を記入してください。

	全部で	男の子	女の子
これまでに生んだお子さんは ※死産は含みません。	() 人 いない場合は0を記入	() 人 いない場合は0を記入	() 人 いない場合は0を記入
そのうち生存している お子さんは	() 人 いない場合は0を記入	() 人 いない場合は0を記入	() 人 いない場合は0を記入

● ここからは、あなた方ご夫婦の妊娠・出産にかかわる事柄についてうかがいます。立ち入った内容も含まれますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

問10 あなた方ご夫婦が、これまでに経験した妊娠の回数を（ ）内に記入してください。

妊娠（ ）回 一度も経験していない場合には0を記入

● 妊娠経験のある方にうかがいます。妊娠経験のない方は問12へ進んでください。

問11 あなた方ご夫婦が経験されたすべての妊娠・出産について、(1)妊娠の結果、(2)妊娠/出産の時期、(3)妊娠前の予定のあてはまる番号に○をつけ、下線の欄に人数、年月、年齢を記入してください。

	(1) 妊娠の結果	(2) 妊娠/出産の時期	(3) 妊娠前の予定
● 現在のご結婚以前については、後ほど別の設問でおたずねします。			
第1回目の妊娠	1. 出生 → { 1. 男 2. 女 3. ふたご以上 → 男()人 女()人 } 2. 流産 (死産を含む) 3. 人工妊娠中絶 } 4. 現在妊娠中 _____	{ [1. 昭和 2. 平成 3. 令和 4. 西暦] _____年 _____月 出産 → あなたが () 歳のとき → [1. 令和 2. 西暦] _____年 _____月 出産予定 →	1回目の妊娠をしたとき 1. 早く子どもが欲しかった 2. まだ妊娠するつもりではなかった 3. もう妊娠するつもりはなかった 4. とくに考えていなかった
第2回目の妊娠	1. 出生 → { 1. 男 2. 女 3. ふたご以上 → 男()人 女()人 } 2. 流産 (死産を含む) 3. 人工妊娠中絶 } 4. 現在妊娠中 _____	{ [1. 昭和 2. 平成 3. 令和 4. 西暦] _____年 _____月 出産 → あなたが () 歳のとき → [1. 令和 2. 西暦] _____年 _____月 出産予定 →	2回目の妊娠をしたとき 1. 早く子どもが欲しかった 2. まだ妊娠するつもりではなかった 3. もう妊娠するつもりはなかった 4. とくに考えていなかった
第3回目の妊娠	1. 出生 → { 1. 男 2. 女 3. ふたご以上 → 男()人 女()人 } 2. 流産 (死産を含む) 3. 人工妊娠中絶 } 4. 現在妊娠中 _____	{ [1. 昭和 2. 平成 3. 令和 4. 西暦] _____年 _____月 出産 → あなたが () 歳のとき → [1. 令和 2. 西暦] _____年 _____月 出産予定 →	3回目の妊娠をしたとき 1. 早く子どもが欲しかった 2. まだ妊娠するつもりではなかった 3. もう妊娠するつもりはなかった 4. とくに考えていなかった
第4回目の妊娠	1. 出生 → { 1. 男 2. 女 3. ふたご以上 → 男()人 女()人 } 2. 流産 (死産を含む) 3. 人工妊娠中絶 } 4. 現在妊娠中 _____	{ [1. 昭和 2. 平成 3. 令和 4. 西暦] _____年 _____月 出産 → あなたが () 歳のとき → [1. 令和 2. 西暦] _____年 _____月 出産予定 →	4回目の妊娠をしたとき 1. 早く子どもが欲しかった 2. まだ妊娠するつもりではなかった 3. もう妊娠するつもりはなかった 4. とくに考えていなかった
第5回目の妊娠	1. 出生 → { 1. 男 2. 女 3. ふたご以上 → 男()人 女()人 } 2. 流産 (死産を含む) 3. 人工妊娠中絶 } 4. 現在妊娠中 _____	{ [1. 昭和 2. 平成 3. 令和 4. 西暦] _____年 _____月 出産 → あなたが () 歳のとき → [1. 令和 2. 西暦] _____年 _____月 出産予定 →	5回目の妊娠をしたとき 1. 早く子どもが欲しかった 2. まだ妊娠するつもりではなかった 3. もう妊娠するつもりはなかった 4. とくに考えていなかった

※ 6回以上の妊娠経験がある方は、5回目までのご記入でかまいません。

● **すべての方** にかかいます。

※ここからの質問の回答は、不妊に悩むご夫婦の実情を全国的に把握し、施策を検討するために必要な資料となります。

問12 あなた方ご夫婦の過去1か月以内の性交渉の有無と避妊についておたずねします。

(1)過去1か月以内の性交渉の有無	(2)避妊の有無(一番最近の経験で)	避妊方法はコンドーム、ピル(経口避妊(3)薬)、IUD・リング、不妊手術、殺精子剤(錠剤、フィルム等)のいずれかでしたか?
1. なかった 2. あった	1. 避妊をした 2. 避妊をしなかった	1. はい 2. いいえ (あてはまる番号1つに○)

問13 あなた方ご夫婦は、不妊について不安や悩みがありますか。また、不妊治療の経験はありますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

(1)悩みの有無(1つだけに○)	(2)不妊治療の経験の有無(1つだけに○)
1. 子どもができないことを心配したことはない → 問15へ 2. 過去に子どもができないのではないかと心配したことがある 3. 現在、子どもができないのではないかと心配している	1. 心配はしたが、特に医療機関にかかったことはない → 問15へ 2. 過去に検査や治療を受けたことがある → 問14へ 3. 現在、検査や治療を受けている → 問14へ

● **前問(問13(2))で、不妊治療について「2. 過去に検査や治療を受けたことがある」「3. 現在、検査や治療を受けている」とお答えになった方** にかかいます。

問14 (1)不妊治療の結果、お子さんが生まれましたか。生まれている場合、(2)治療内容別に該当するお子さんをお答えください。

(1)治療の結果、お子さんが生まれましたか(あてはまる番号1つに○)	(2)実施した不妊治療と該当するお子さん(あてはまるお子さんすべてに○)
1. いいえ 2. はい	体外受精、顕微授精 1. 第1子 2. 第2子 3. 第3子 4. 第4子以上 その他の不妊治療※ 1. 第1子 2. 第2子 3. 第3子 4. 第4子以上

※ その他の不妊治療：タイミング法、排卵誘発法、人工授精、その他男性・女性が受ける妊娠のための治療や手術など

● **ここからは、すべての方** に、子どもを持つことについてのお考えをうかがいます。

問15 あなた方ご夫婦にとって(1)理想的な子どもの数は何人ですか。また、(2)子どもの男女の別や組合せには理想がありますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけ、組合せに理想のある方は男の子、女の子の数を下線の欄に記入してください。

(1)理想的な子どもの数	(2)子どもの男女の別や組合せの理想
0. 子どもはいらない → 問17へ 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上 ()人	1. 理想あり → 男の子 ()人 女の子 ()人 2. とくに理想はない

● **前問(問15(1))で、理想的な子どもの数が1人以上と答えた方(1~5に○をつけた方)** にかかいます。

問16 理想的な子どもの数を1人以上とお考えになる理由はなんですか。下の理由のうちから、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

あてはまる最も重要な理由すべてに◎をつけてください。	1. 結婚して子どもを持つことは自然なことだから
	2. 子どもを持つことで周囲から認められるから
	3. 子どもがいると生活が楽しく心が豊かになるから
	4. 子どもは老後の支えになるから
	5. 子どもは将来の社会の支えになるから
	6. 子どもは夫婦関係を安定させるから
	7. 好きな人の子どもを持ちたいから
	8. 夫や親など周囲が望むから
	9. その他 ()

● すべての方 にかがいます。

問17 あなた方ご夫婦の今後のお子さんの予定についておたずねします。(1)お子さんの数と、(2)希望の時期について、あてはまる番号に○をつけてください。(2)で「しばらく間をおいてから」とお答えになった場合は、(3)次のお子さんを持ちたい年齢を下線の欄にご記入ください。

(1) 今後のお子さんの予定 (現在妊娠中のお子さんも含めて)	(2) お子さんを希望する時期
あてはまる番号1つに○ 0. (もう) 生むつもりはない 1. (あと) 1人生むつもり 2. (あと) 2人生むつもり 3. (あと) 3人生むつもり 4. (あと) 4人以上生むつもり	1. できるだけ早く 2. しばらく間をおいてから 3. とくに考えていない 4. 現在妊娠中
	(3) 次のお子さんを持ちたい年齢 あなたが () 歳くらいのとき

問18 そうしますと、あなた方ご夫婦は全部で何人のお子さんを持つおつもりですか。

0. 子どもは持たない	3. 3人
1. 1人	4. 4人
2. 2人	5. 5人以上 () 人

※ 現在の結婚後に持つつもり(持った)お子さんの数をお答えください。

● 今後1人以上のお子さんを生むつもりの方(問17(1)の答えが1人以上の方) にかがいます。

問19 今後持つおつもりのお子さんの数が、もし結果的に持てないことがあるとしたら、その原因は何である可能性が高いですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

持つつもりの子どもの数を実現できない原因(可能性)
あてはまる番号すべてに○ 1. 収入が不安定なこと 2. 自分や夫の仕事(勤めや家業)の事情 3. 家事・育児の協力者がいないこと 4. 保育所など子どもの預け先がないこと 5. 今いる子どもに手がかかること 6. 年齢や健康上の理由で子どもができないこと 7. その他 () 8. 持つつもりの子どもの数を実現できない可能性は低い

● 持つつもりの子どもの数(問18の答)が、理想的な子どもの数(問15(1)の答)より少ない方 にかがいます。

問20 持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないのはどうしてですか。下の理由のうちから、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

あてはまる最も重要な理由すべに◎に○をつけ	1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
	2. 家が狭いから
	3. 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから
	4. 子どもがのびのび育つ環境ではないから
	5. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
	6. 高齢で生むのはいやだから
	7. これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
	8. 健康上の理由から
	9. ほしいけれどもできないから
	10. 夫の家事・育児への協力が得られないから
	11. 夫が望まないから
	12. 未子が夫の定年退職までに成人してほしいから
	13. その他 ()

● ここからは、現在の結婚で生まれたお子さんの育児期の状況についてうかがいます。
 お子さんが生まれていない方は、問25へ進んでください。

問21 あなた方ご夫婦がお子さんをお持ちになったときのあなたのおつとめの状況についておたずねします。
 下のa~fの各時期における(1)おつとめの状況、(2)おつとめ先の従業員数について、あてはまる番号に
 1つずつ○をつけてください。

おたずねの対象者の時期 ↓	おたずねの対象者の時期 ↓	(1)おつとめの状況※1						(2)おつとめ先の従業員数 (本社・支社を含む)						
		1 正規の職員	2 パート・アルバイト	3 派遣・嘱託・契約社員	4 自営業主・家族従業者・内職	5 無職・家事	6 学生	1 1人	2 10人	3 30人	4 100人	5 300人	6 1000人以上	7 官公庁
生第1だ子方	●現在の結婚後に生まれたお子さんについて	1~6のあてはまる番号に○をつける 1~4に○をつけたときは右の欄に進む						(1)で1~4に○をつけたときだけ あてはまる番号に○をつける						
	a. 第1子の妊娠がわかったとき	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7
	b. 第1子が1歳になったとき	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7
生第2だ子方	c. 第2子の妊娠がわかったとき	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7
	d. 第2子が1歳になったとき	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7
生第3だ子方	e. 第3子の妊娠がわかったとき	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7
	f. 第3子が1歳になったとき	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7

※1 産休・育児休業中の場合は就業とみなします。休業前のおつとめの状況に○をつけてください。
 ※ お子さんが4人以上いらっしゃる方は、3人目までのご記入でかまいません。
 ※ 生んだお子さんが1歳未満の場合は、「1歳になったとき」について空欄のまま結構です。

問22 一番下のお子さん(末子)を生んだあとと現在までの間に、(1)お仕事(収入を伴うもの)につきましたか。
 お仕事についた場合、そのお仕事の(2)就業形態と、(3)従業員数、(4)就業した時期についてお答えくだ
 さい。
 ※ 末子出産後、異なる仕事に複数回ついた場合は、最初についたお仕事についてお答えください。

(1)一番下のお子さん(末子)を出産したあとの就業の有無	(4)就業時期										
1. 出産前の仕事・職場に復帰した	一番下のお子さんが ()歳のとき ※1歳未満の場合は ()か月のとき										
2. 新たに仕事についた											
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>(2)就業形態</th> <th>(3)おつとめ先の従業員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 正規の職員</td> <td>1. 1~9人 5. 300~999人</td> </tr> <tr> <td>2. パート・アルバイト</td> <td>2. 10~29人 6. 1000人以上</td> </tr> <tr> <td>3. 派遣・嘱託・契約社員</td> <td>3. 30~99人 7. 官公庁</td> </tr> <tr> <td>4. 自営業主・家族従業者・内職</td> <td>4. 100~299人</td> </tr> </tbody> </table>		(2)就業形態	(3)おつとめ先の従業員数	1. 正規の職員	1. 1~9人 5. 300~999人	2. パート・アルバイト	2. 10~29人 6. 1000人以上	3. 派遣・嘱託・契約社員	3. 30~99人 7. 官公庁	4. 自営業主・家族従業者・内職	4. 100~299人
(2)就業形態		(3)おつとめ先の従業員数									
1. 正規の職員	1. 1~9人 5. 300~999人										
2. パート・アルバイト	2. 10~29人 6. 1000人以上										
3. 派遣・嘱託・契約社員	3. 30~99人 7. 官公庁										
4. 自営業主・家族従業者・内職	4. 100~299人										
3. 末子出産後、仕事にはついていない											
4. 現在、末子の産後休業または育児休業中											

● ひきつづき、現在の結婚で生まれたお子さんの育児期の状況 についてうかがいます。

問23 あなた方ご夫婦のお子さんが3歳になるまでの間について、ご夫婦のそれぞれのお母さま、お父さまからどのくらい子育ての手助けがありましたか。また、あなたの夫の家事・育児頻度はどのくらいでしたか。第1子、第2子、第3子について、それぞれあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

おたすねのお子さん ↓	(1)あなた(妻)のお母さま					(2)あなた(妻)のお父さま					(3)夫のお母さま					(4)夫のお父さま					(5)あなたの夫																
	家事頻度				育児頻度																																
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
	1 ほとんどなかった	2 ときどきあった	3 ひんばんにあった	4 日常的にあった	5 すでに亡くなっていた	1 ほとんどなかった	2 ときどきあった	3 ひんばんにあった	4 日常的にあった	5 すでに亡くなっていた	1 ほとんどなかった	2 ときどきあった	3 ひんばんにあった	4 日常的にあった	5 すでに亡くなっていた	1 ほとんどなかった	2 ときどきあった	3 ひんばんにあった	4 日常的にあった	5 すでに亡くなっていた	1 ほとんどなかった	2 ときどきあった	3 ひんばんにあった	4 日常的にあった	5 すでに亡くなっていた	1 ほとんどなかった	2 ときどきあった	3 ひんばんにあった	4 日常的にあった	5 すでに亡くなっていた	1 ほとんどなかった	2 ときどきあった	3 ひんばんにあった	4 日常的にあった			
	●現在の結婚後に生まれたお子さんについてあてはまる番号1つに○										●現在の結婚後に生まれたお子さんについてあてはまる番号1つに○										●現在の結婚後に生まれたお子さんについてあてはまる番号1つに○																
第1子	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
第2子	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
第3子	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4

※ お子さんが4人以上いらっしゃる方は、3人目までのご記入でかまいません。

※ お子さんが3歳になるまでに状況が変わった場合は、おもな状況についてお答えください。

問24 あなた方ご夫婦のお子さんが3歳になるまでの間、(1)ご夫婦のそれぞれのお母さまとは同居していましたか。また、(2)以下の制度や施設を利用しましたか。第1子、第2子、第3子について、あてはまる番号に○をつけてください。

おたすねのお子さん ↓	(1)お母さまとの同居				(2)利用した制度・施設																													
	あなたのお母さま		夫のお母さま		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15															
	1	2	3	4	1	2	3	4	産前・産後休業制度	育児休業制度(妻)	育児休業制度(夫)	育児時間制度・短時間勤務制度	認可保育所(小規模認可保育所含む)	認定こども園	事業所内保育施設・企業主導型保育	その他の認可外保育施設(保育室・ベビーホテルなど)・認証保育所	保育ママ(家庭的保育)	ファミリー・サポート・センター	ベビーシッター(居宅訪問型保育含む)	一時預かり事業	子育て支援センター・つどいの広場など地域の親子交流や相談の場	どれも利用しなかった												
	1 同居	2 同じ市区町村内で別居	3 それ以外の地域で別居	4 すでに亡くなっていた	1 同居	2 同じ市区町村内で別居	3 それ以外の地域で別居	4 すでに亡くなっていた																										
	●現在の結婚後に生まれたお子さんについてご記入ください。				●現在の結婚後に生まれたお子さんについてご記入ください。																													
第1子	それぞれ、あてはまる番号1つに○				あてはまる番号すべてに○																													
第2子	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15											
第3子	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15											

※ お子さんが4人以上いらっしゃる方は、3人目までのご記入でかまいません。

※ お子さんが3歳になるまでに状況が変わった場合は、おもな状況についてお答えください。

● **すべての方**に、あなた方ご夫婦のご両親とごきょうだいについてうかがいます。

問25 あなた方ご夫婦のご両親の(1)出生年と年齢、(2)最後に卒業した学校についておたずねします。あてはまる番号に○をつけ、下線の欄には数字を記入してください。

	あなた(妻)のお母さま	あなた(妻)のお父さま	夫のお母さま	夫のお父さま
(1) 出生年	[1.大正 2.昭和 3.西暦] _____年 生まれ (満____歳)	[1.大正 2.昭和 3.西暦] _____年 生まれ (満____歳) ※ 満年齢の記入は、ご健在の方のみで結構です。	[1.大正 2.昭和 3.西暦] _____年 生まれ (満____歳)	[1.大正 2.昭和 3.西暦] _____年 生まれ (満____歳)
(2) 学校最後に卒業した	1. 中学校 2. 高校 3. 専修・専門学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院 7. その他 ()	1. 中学校 2. 高校 3. 専修・専門学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院 7. その他 ()	1. 中学校 2. 高校 3. 専修・専門学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院 7. その他 ()	1. 中学校 2. 高校 3. 専修・専門学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院 7. その他 ()
※ 旧制の高等小学校、小学校は中学校卒として下さい。旧制の高等女学校は高校卒として下さい。				

問26 あなた方ご夫婦のご両親との同居/別居について、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

おたずねの対象時期 ↓	(1)あなた(妻)のお母さま		(2)あなた(妻)のお父さま		(3)夫のお母さま		(4)夫のお父さま	
	1 同居	2 同じ市区町村内で別居	3 それ以外の地域で別居	4 すでに亡くなっていた(いる)	1 同居	2 同じ市区町村内で別居	3 それ以外の地域で別居	4 すでに亡くなっていた(いる)
各欄のあてはまる番号に1つずつ○								
a. 現在の結婚を決めたとき	あなた	1 2 3 4	1 2 3 4	/		/		
	夫	/		/		1 2 3 4	1 2 3 4	
b. 結婚直後		1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	
c. 現在		1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	

問27 あなた方ご夫婦の兄弟姉妹の数を下線の欄に記入してください(亡くなられた方は含めません)。

あなた	あなたを含めて合計 ()人	→ あなたの兄弟姉妹の内訳 →	兄()人	姉()人	弟()人	妹()人
			いない場合は○を記入	いない場合は○を記入	いない場合は○を記入	いない場合は○を記入
夫	夫を含めて合計 ()人	→ 夫の兄弟姉妹の内訳 →	兄()人	姉()人	弟()人	妹()人
			いない場合は○を記入	いない場合は○を記入	いない場合は○を記入	いない場合は○を記入

● **すべての方** にかがいます。

問28 結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについてはいろいろな考え方がありますが、下に例として①～⑭のような考え方を示しました。それぞれについて、あなたご自身はどのようにお考えでしょうか。それぞれの右の欄のあてはまる番号1つに○をつけてください。

※本問では賛成・反対の立場が取りやすいよう断定的な表現を用いています。また、必ずしも一般的でない考え方も含まれています。

(左の考え方に)			
1	2	3	4
ま	い	い	ま
っ	ど	ど	っ
た	え	え	た
く	ち	ち	く
賛	ば	ば	反
成	ら	ら	か
	賛	反	と
	成	対	と
	と		反
			対

	それぞれ番号1つに○			
	1	2	3	4
① 生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	1	2	3	4
② 男女と一緒に暮らすなら結婚すべきである	1	2	3	4
③ 結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉をもってかまわない	1	2	3	4
④ どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ	1	2	3	4
⑤ 結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標を持つべきである	1	2	3	4
⑥ 結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ	1	2	3	4
⑦ 結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
⑧ 結婚したら、子どもは持つべきだ	1	2	3	4
⑨ 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず家にいるのが望ましい	1	2	3	4
⑩ いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではない	1	2	3	4
⑪ 結婚していなくても、子どもを持ってかまわない	1	2	3	4
⑫ 結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は仕事の成功よりも重要だ	1	2	3	4
⑬ 女性が最初の子どもの産むなら20代のうちがよい	1	2	3	4
⑭ 男性どうし、女性どうしの結婚があってもかまわない	1	2	3	4

問29 あなたの**結婚前までの**身近な状況について、おたずねします。以下の①～③について、それぞれ右の欄のあてはまる番号1つに○をつけてください。質問項目に該当する相手がいない(いなかった)場合は、5に○をつけてください。

(左の状況に)				
1	2	3	4	5
あ	あ	あ	あ	該
て	ど	ど	て	当
は	ち	ち	は	し
ま	は	は	ま	な
る	ら	ら	ら	い
	ま	ま	ま	
	か	か	か	
	と	と	と	
	い	い	い	
	え	え	え	
	ば	ば	ば	

結婚前までの 身近な状況	それぞれ番号1つに○					
	1	2	3	4	5	
	① 赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった	1	2	3	4	—
	② 両親のような夫婦関係をうらやましく思っていた	1	2	3	4	5
③ 結婚しているまわりの友人をみると、幸せそうだと思っていた	1	2	3	4	5	

● **すべての方** にかがいます。

問30 あなた方ご夫婦それぞれの現在の健康状態はいかがですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

あなた	1. よい	2. まあよい	3. ふつう	4. あまりよくない	5. よくない
夫	1. よい	2. まあよい	3. ふつう	4. あまりよくない	5. よくない

問31 あなた方ご夫婦それぞれの現在の身長、体重、および喫煙習慣についてお答えください。

あなた	身長	<input type="text"/>	cm	体重	<input type="text"/>	kg	喫煙習慣 (1. ない 2. 以前あった 3. 現在ある)	あてはまる番号1つに○
夫	身長	<input type="text"/>	cm	体重	<input type="text"/>	kg	喫煙習慣 (1. ない 2. 以前あった 3. 現在ある)	あてはまる番号1つに○

※ 現在、ご自身が妊娠中の方は、妊娠前の体重をご記入ください。

問32 あなた方ご夫婦が**結婚された当時**、全部で何人のお子さんを持つつもりでしたか。あてはまる番号1つに○をつけ、5人以上の場合は下線の欄に人数を記入してください。

0. 子どもは持たないつもりだった	3. 3人	6. とくに考えていなかった
1. 1人	4. 4人	
2. 2人	5. 5人以上 (<u> </u>)人	

● **あなた方ご夫婦** それぞれの現在の結婚以前の状況についてうかがいます。

問33 現在の結婚以前に生んだおさんはおられますか。あてはまる番号1つに○をつけ、おられる場合は、そのお子さんの出生年月や、現在同居しているかについてもお答えください。

	(1)現在の結婚以前に生んだおさんの数	(2)おさんの出生年月	(3)現在そのおさんと同居しているか
あなた	あてはまる番号1つに○ 0. 子どもはいない	[1. 昭和 2. 平成 3. 令和 4. 西暦] _____年____月	1. 同居 2. 別居・その他
	1. 1人	[1. 昭和 2. 平成 3. 令和 4. 西暦] _____年____月	1. 同居 2. 別居・その他
	2. 2人	[1. 昭和 2. 平成 3. 令和 4. 西暦] _____年____月	1. 同居 2. 別居・その他
	3. 3人		
	4. 4人以上 (<u> </u>)人		

※ 4人以上いらっしゃる方は、3人目までのご記入でかまいません。

	(1)現在の結婚以前に持ったおさん(実子)の数	(2)左欄の回答のうち、現在、同居しているおさんの数
夫	あてはまる番号1つに○ 0. 子どもはいない	あてはまる番号1つに○ 0. いない
	1. 1人	1. 1人
	2. 2人	2. 2人
	3. 3人	3. 3人
	4. 4人以上 (<u> </u>)人	4. 4人以上 (<u> </u>)人
	5. わからない	

● ご自身が **再婚の方** にかかっています。
再婚経験がない方はここで調査は終わりです。下のご意見の欄にお進みください。

問34 あなたの最初の結婚について、あてはまる番号に○をつけ、年月を記入してください。

(1)最初の結婚生活を始めた年月	(2)同居をやめたとき、または死別をした年月
[1. 昭和 2. 平成 3. 令和 4. 西暦] _____年____月	[1. 昭和 2. 平成 3. 令和 4. 西暦] _____年____月

● 以上で質問は終わりです。以下は自由記述欄です（ご意見等が無ければ空欄のままでかまいません）。

結婚や出産・子育ての体験を通じて、導入して欲しい施策、あるいは充実してほしい施策はありますか。また、結婚、出産、子育て、人口問題などについてご意見などはございますか。下の欄に自由にご記入ください。

そのほか、本調査について、言葉がわかりづらい、回答が難しいところはありませんか。また、回答方法について、紙面ではなく、オンライン上での回答を希望されますか。今後の調査改善に役立てますので、下の欄に自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
ご回答いただいた調査票は回収用の封筒に入れ、ノリづけしたうえで調査員にお渡しください。
封筒は国立社会保障・人口問題研究所へ届くまで、途中で開封されることはありません。

※ 貴重なお時間をいただきましたことをこころから感謝申し上げます。本調査の結果は当研究所における統計分析を通して、国民の皆様の生活向上に役立てられることとなります。なお、過去の結果については、下記に掲載しています。

出生動向基本調査ホームページ・アドレス（対象者用）

<http://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/nfs16info/index.asp>

§ 調査についてのご説明

◇ 結婚と出産に関する全国調査（出生動向基本調査）とは？

この調査は、国民の皆さまの結婚、出産、子育てについて調べる全国標本調査で、ほぼ5年ごとに実施されてきました。今回は16回目にあたります。ご夫婦の方への調査と、独身の方への調査の2種類があります。

◇ 調査の目的

国や自治体は、さまざまな施策を実施するにあたって、住民のおかれた状況や問題を把握しておかなくてはなりません。この調査は、国民の皆さまの結婚、出産、子育ての状況を把握し、これにかかわる政策的な課題を社会科学的立場から探ることが主な目的です。とりわけ今日の日本では少子化が進行しており、これにともなう人口の減少と高齢化、そしてひとりひとりの生き方の変化が、今後の日本社会に大きな影響を与えるとの指摘がされています。この少子化の現状を把握し、原因を究明することは、本調査の大切な課題のひとつです。

◇ 調査の対象

この調査は、全国から無作為に選ばれた地域にお住まいの方々を対象としており、以下の2つのグループの方々に別々の調査票を用意しています。

【結婚されている方への調査票】（黄色の調査票）

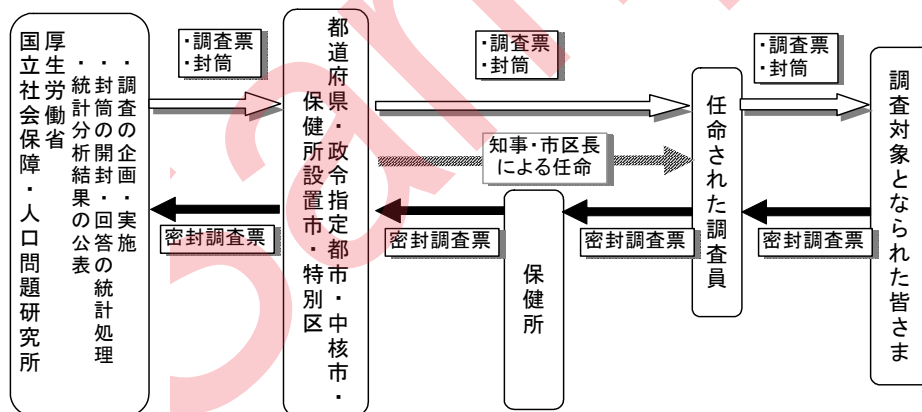
—— 届出の有無を問わず、6月30日時点で結婚されている55歳未満の女性の方すべてが対象です。

【独身の方への調査票】（緑色の調査票）

—— 6月30日時点で18歳以上55歳未満の独身の方（男性および女性）すべてが対象です。

◇ 調査のしくみ

この調査は、国立社会保障・人口問題研究所（厚生労働省に所属する国立の研究機関）が、統計法に基づく総務大臣の承認を受けて、国、都道府県（または政令指定都市・中核市・保健所設置市・特別区）、地域の保健所と連携して実施します。調査は、知事（市長・区長）から任命された調査員が皆さまのお宅にうかがい、調査票の配布、および回答いただいた調査票（封筒に入れて密封したもの）を回収する方法で行います。



◇ プライバシー・個人情報の保護について

この調査票上の回答はすべて統計を作成する目的だけに用いられ、それ以外の使用は「統計法」という法律で固く禁じられています。皆さまに回答いただき回収用封筒に密封された調査票は、調査員が回収した後も開封されることなく国立社会保障・人口問題研究所に届けられ、その後は厳重な管理の下に置かれます。統計を作成する過程では個人を特定する情報はすべて除外されます。したがって、個人情報がもれることは絶対にありません。

◇ その他のお問い合わせ

回答方法などについてのお問い合わせは、調査員におたずねください。また、本調査の詳細情報、これまでの調査結果、よくあるお問い合わせなどについては、インターネット上に出生動向基本調査のホームページを開設して紹介しています。そちらをご参照ください。

出生動向基本調査ホームページ（対象者用） <http://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/nfs16info/index.asp>

**結婚と出産に関する全国調査（出生動向基本調査）
を含む公的統計の作成は統計法によって行われます**

- ◆ 統計法は、社会に必要な情報基盤としての統計を整備するためのルールです。
- ◆ 統計法は、役に立つ統計の整備を通じ、国民生活を向上させます。
- ◆ 結婚と出産に関する全国調査（出生動向基本調査）の結果は、国や自治体の施策・サービスの提供に役立てられています。

個人情報 は 厳重 に 保護 されます

- ◆ 結婚と出産に関する全国調査（出生動向基本調査）では、統計法の規定により、個人情報は厳重に保護されます。
- ◆ 調査票に書かれた事柄は厳しく秘密が守られ、統計を作るためだけに用いられます。その他の目的に用いることは、統計法で禁止されています。